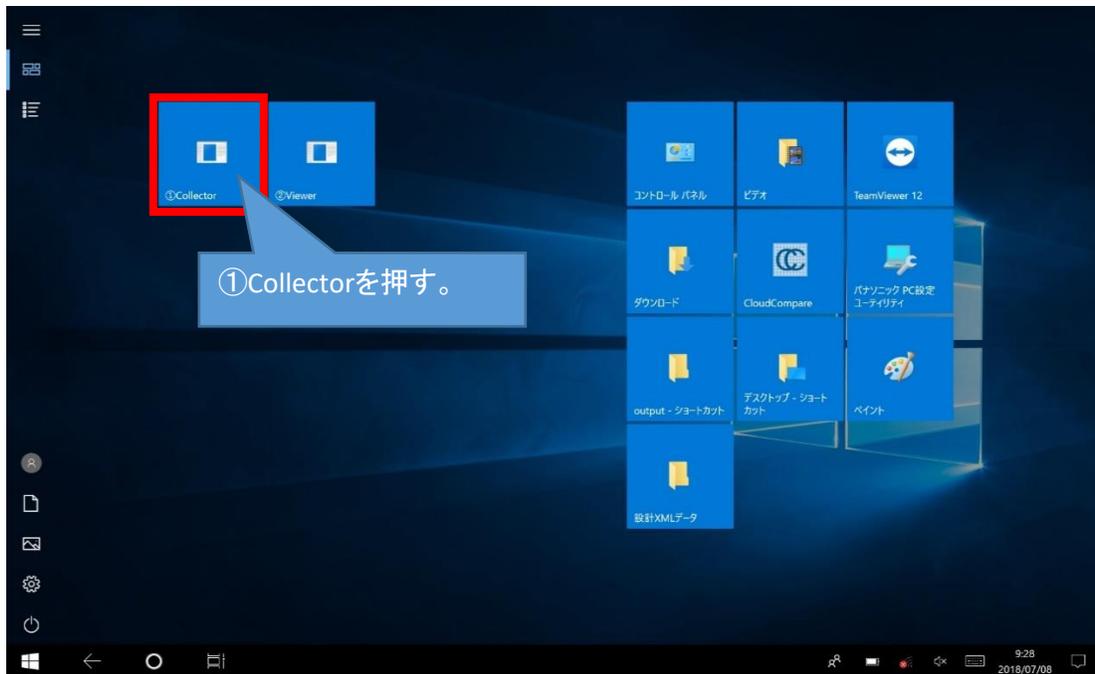


# 重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

1.電源ボタンを長押しして下さい。

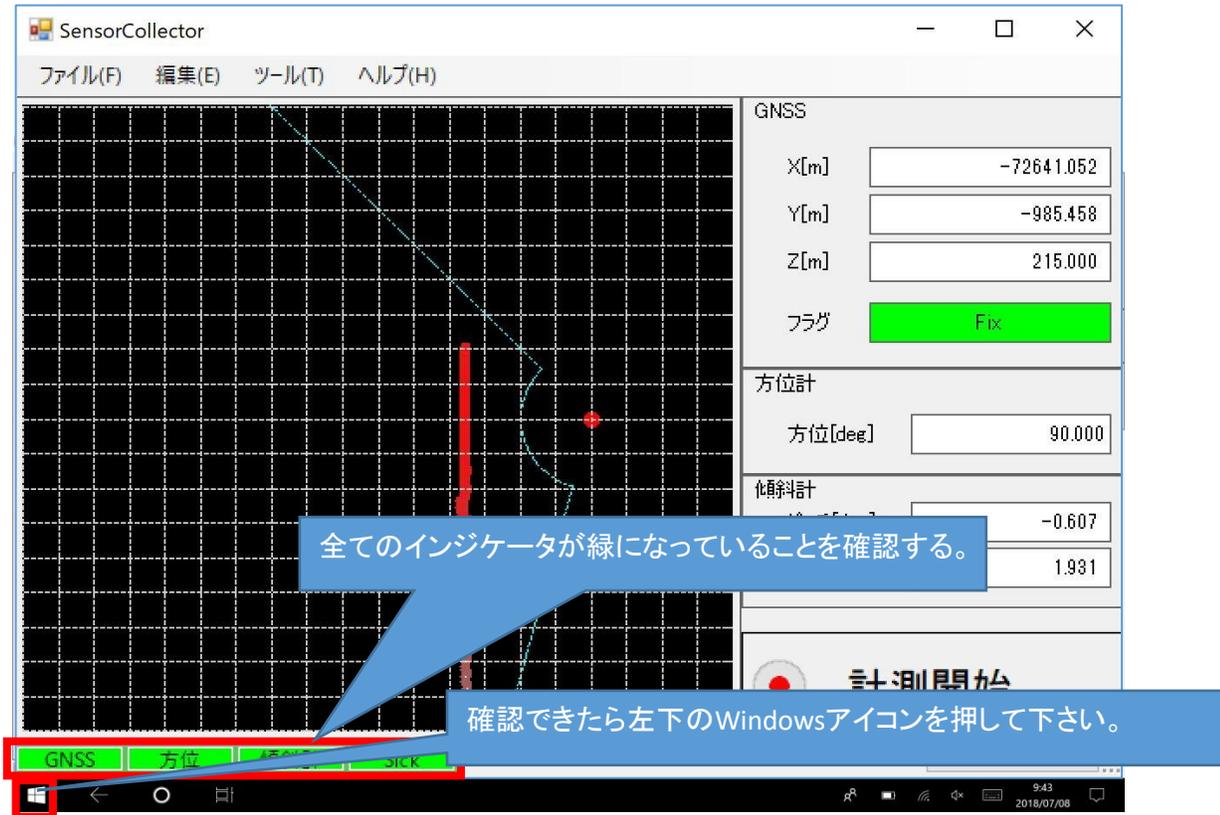


2.PCの電源を入れて「①Collector」を押してください。するとCollectorソフト(計測ソフト)が起動します。

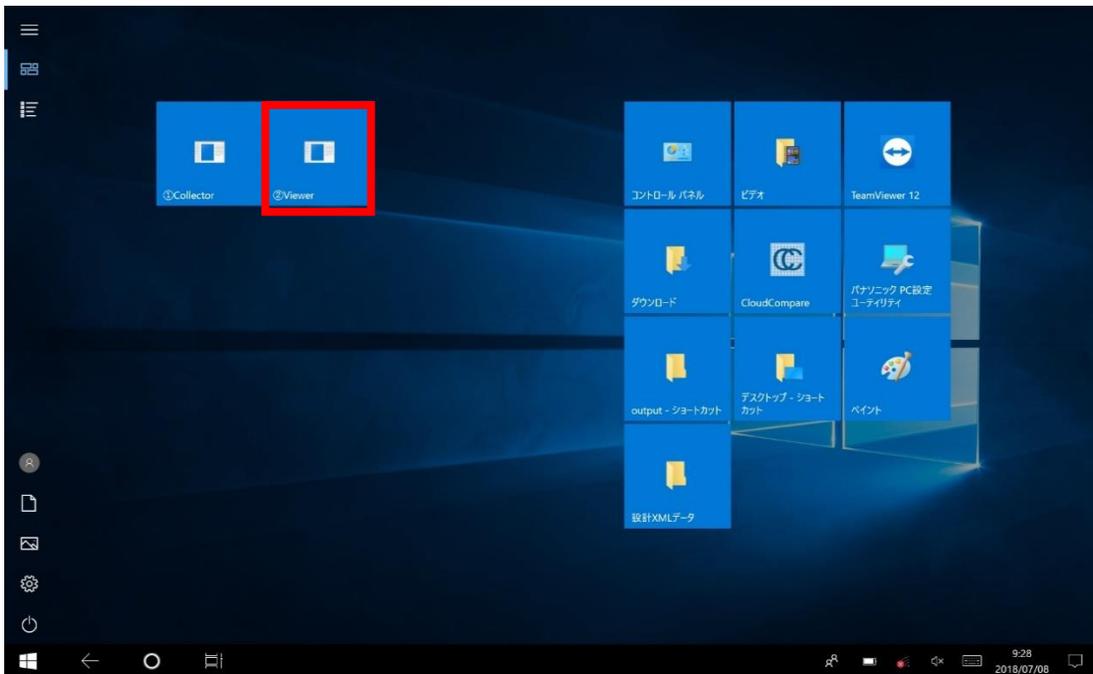


# 重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

3.ソフト起動後、「GNSS」「方位」「傾斜計」「Sick」のインジケータがすべて緑になっていることを確認して下さい。確認できたら、画面左下のWindowsアイコンを押して下さい。

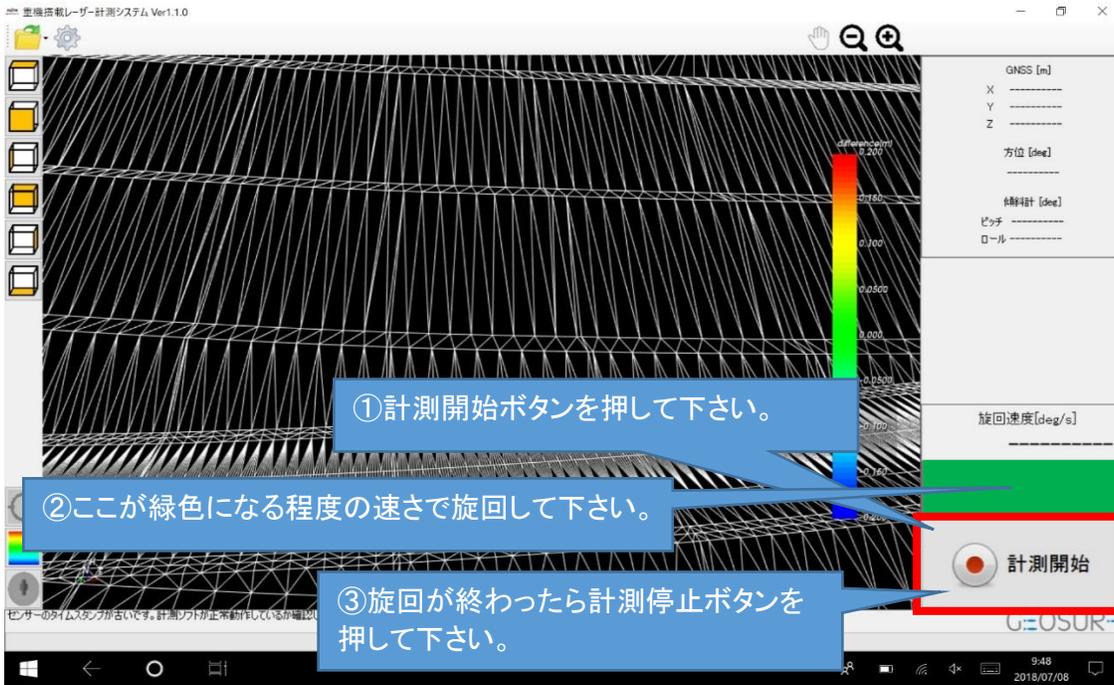


4.「②Viewer」を押して下さい。するとViewerソフト(3D出来形計算表示ソフト)が起動します。

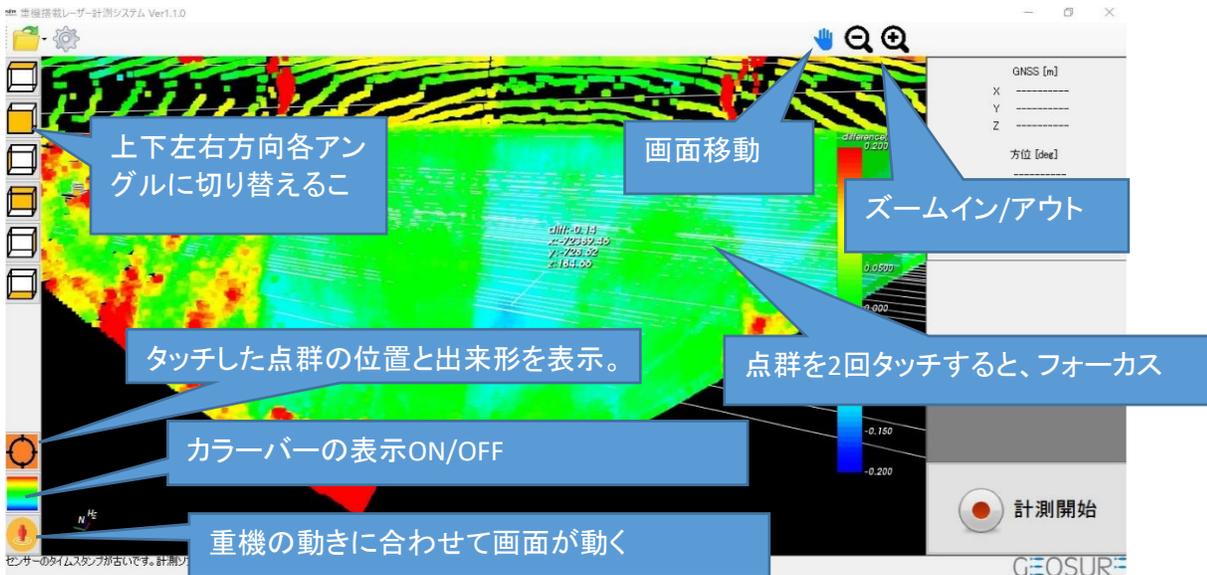


# 重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

5. 計測開始ボタンを押して、バックホウを回転させて下さい。  
回転は回転速度のインジケータが緑色になる程度の速さで回転して下さい。



6. しばらくすると、計算処理が終わりヒートマップが表示されます。  
画面操作によって、画面のズームイン・ズームアウト・アングルの変更が出来ます。

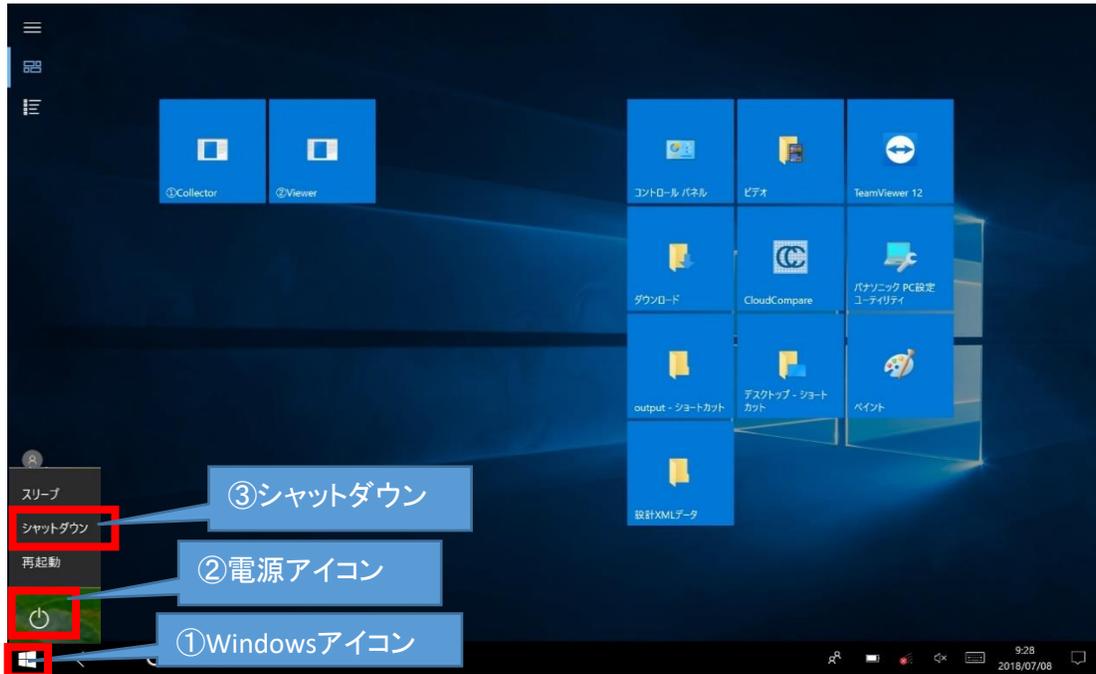


# 重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

## 7. 作業終了方法

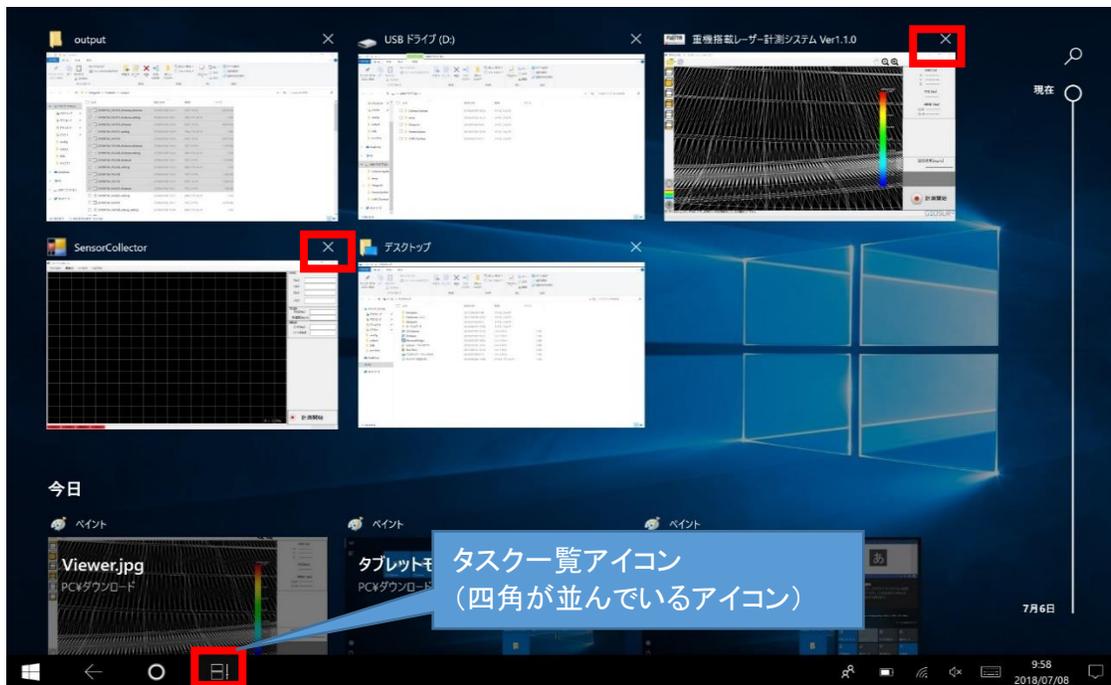
作業終了後には必ず電源を切って下さい。

Windowsアイコンを押して、電源アイコンを押して「シャットダウン」を押して下さい。



★動作がおかしい場合は、CollectorとViewer両方のソフトを終了させて、もう一度やり直して下さい。

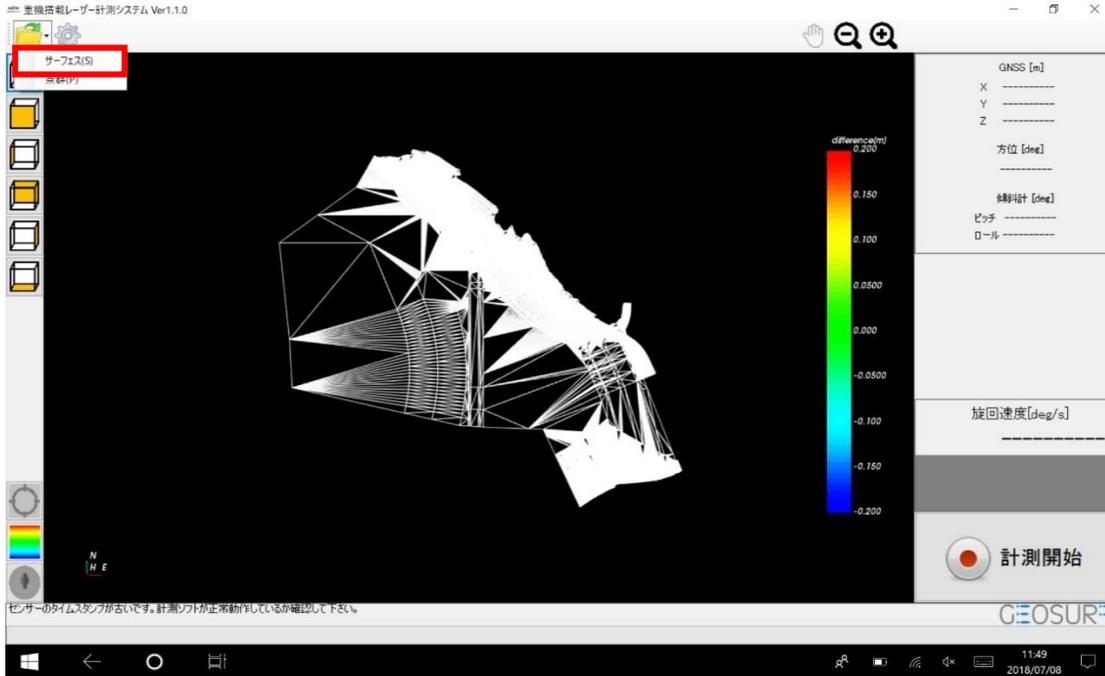
ソフトを終了させるには、タスク一覧アイコンを押して、CollectorとViewerの「×」を押して終了させることができます。



# 重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 設定操作

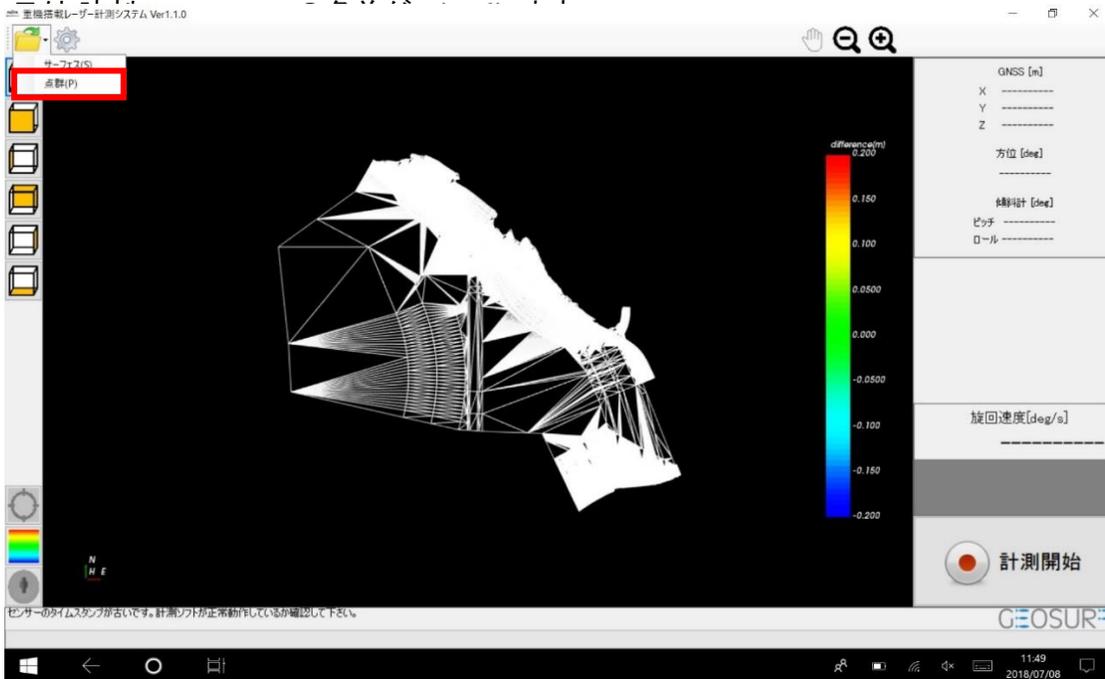
## ■設計データの変更

フォルダアイコンを押して、「サーフェス(S)」を押してください。  
ファイル選択ダイアログが表示されるので、目的のファイルを選択してください。



## ■計測済みの点群データを表示する。

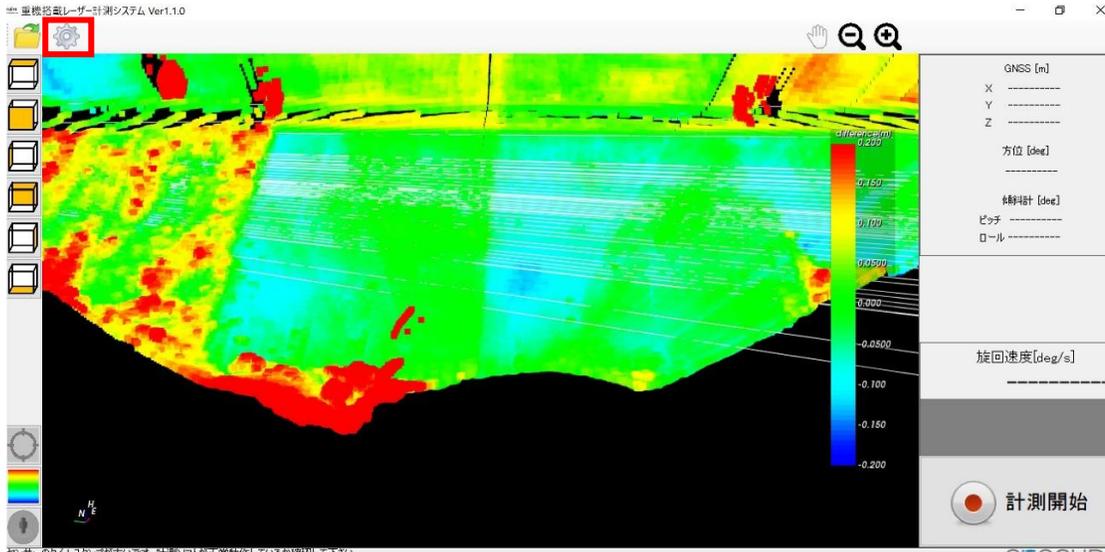
フォルダアイコンを押して、「サーフェス(S)」を押してください。  
ファイル選択ダイアログが表示されるので、目的のファイルを選択してください。  
計測済みの点群データは「20180709\_143003\_distance.xyz」のように



# 重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 設定操作

## ■各種表示設定

設定アイコンを押して「表示」タブを選択すると、点群の大きさや色、カラーバーの値範囲などが変更できます。



**設定**

データ取得 | **表示** | 作業

カラーバー設定(m) 最小値  最大値

カラーバーラベル数

点群表示サイズ

点群間引き数(1/N)

1スキャンリアルタイム点群プール数

回転速度表示閾値

その他の設定値は基本的に変更しないでください。

OK または 適用を押すと変更を確定します。

OK キャンセル 適用(A)